

第24回ジャパンオープンハンドボールトーナメント (Japan Open Handball Tournament)

「燃ゆる感動かごしま国体」ハンドボール競技リハーサル大会 大会実施要項

- 1 主催 (公財)日本ハンドボール協会, 全日本社会人ハンドボール連盟
霧島市, 霧島市教育委員会, 燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会霧島市実行委員会
- 2 主管 鹿児島県ハンドボール協会
- 3 後援 鹿児島県, 鹿児島県教育委員会, (公財)鹿児島県体育協会, 霧島市スポーツ協会
- 4 期日 令和元年8月10日(土) ~ 8月13日(火)
- 5 会場 霧島市溝辺体育館 鹿児島県霧島市溝辺町麓 3391
霧島市横川体育館 鹿児島県霧島市横川町上ノ 3392-3
霧島市隼人体育館 鹿児島県霧島市隼人町内山田 1-14-16
霧島市立国分中央高等学校 精華アリーナ 鹿児島県霧島市国分中央 1-10-1
- 6 種別 男子の部 / 女子の部

7 参加資格

- (1) 令和元年度(公財)日本ハンドボール協会に年度当初「一般A」に登録された単独チーム及び個人とする。
大会申込み締切後の追加・移籍での出場は認められない。また,日本ハンドボールリーグ(「一般L」登録)・全日本学生ハンドボール連盟・(公財)全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部・全国高専ハンドボール連盟に登録されたチーム及び個人の出場はできない。
- (2) 参加チームは,各地区(ブロック)の予選を通過したチーム,または地区の推薦を受けたチームとし,開催県は男女1チームずつの出場を認める。
- (3) 中学生以下の出場は認めない。
- (4) 各地区(ブロック)の出場割当数は以下のとおりとする。

地区	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催県	計
男子	1	4	7	3	4	3	3	2	4	1	32
女子	1	2	3	2	1	2	1	1	2	1	16

(留意事項)

不参加ブロックや不参加チームがあった場合の出場割り当て枠は,九州ブロックで対応する。
各都道府県・ブロック予選にあたっての選手登録確認は,それぞれの主管協会が責任を持って行うこと。
また,ブロック予選は各都道府県代表2チーム以上が出場することによって実施されることが望ましい。

- 8 参加人員 登録は,役員6名以内・選手16名以内の合計22名以内とする。
ただし,監督が選手を兼ねる場合は選手としても参加申し込みをすること。

大会エントリー・・・役員6名以内・選手16名以内
ゲームエントリー・・・役員4名以内・選手16名以内

9 参加申込

- (1) 申し込みはweb 登録システムの大会参加申込を利用すること。 <https://handballer.jp/>
- (2) 申込期限は、令和元年6月25日(火)23:59とする。東北、関東ブロックは7月2日(火)11:59とする。
- (3) 申込書の番号は、試合時ユニフォームの背番号と同一にすること。
なお、ユニフォーム色の変更期限は代表者会議前日までとする。その際、下記(ア)(イ)(ウ)宛てに届けなければならない。
- (4) 申込締め切り後の役員・選手の変更は、死亡・疾病・傷害等の特別な場合のみ認める。特別な事情で変更する場合は、それを証明する書類を添付した文書を下記(ア)(イ)(ウ)宛に届け出ること。届出の手続きは、代表者会議の前日までに完了させること。原本は(ア)のみで良い。

申込送付先

(ア)「(公財)日本ハンドボール協会」宛

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町14-1 第2田中ビル7F

TEL:03-6709-8940 FAX:03-6709-8941

E-mail:info@japan-handball.jp

(イ)「鹿児島県ハンドボール協会」宛 事務局 海江田 貴嗣

〒899-6507 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田330-5 県立霧島高等学校内

TEL:0995-76-0039 FAX:0995-76-0040

E-mail:kaieda_taka@yahoo.co.jp

(ウ)「燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会霧島市実行委員会」宛

〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央3-45-1 霧島市国民体育大会推進課内

TEL:0995-64-0736 FAX:0995-64-0740

E-mail:kokutai@city-kirishima.jp

10 参加料 1チーム30,000円

- (1) 令和元年6月26日(水)までに下記口座に振り込むこと。東北、関東ブロックは7月2日(火)とする。

振込先

金融機関：鹿児島銀行郡山支店 普通口座 No. 143739

口座名義：鹿児島県ハンドボール協会 会長 岡山明弘

振込み手数料は各チームで負担すること。

- (2) 振込名は先頭にチーム名をつけること。
- (3) 口座振込済みを証明する書類(各金融機関発行の振込金受領書等)は、大会が終了するまで保管すること。

- 1.1 競技規則 令和元年度「(公財)日本ハンドボール協会競技規則」による。
- 1.2 競技方法 トーナメント方式による。3位決定戦を実施する。
- 1.3 組合せ抽選
- (1) 日 時 : 令和元年7月2日(火) 14:00~
- (2) 場 所 : (公財)日本ハンドボール協会事務局会議室(東京都新宿区四谷本塩町14-1 第2田中ビル7F)
- (3) 方 法 : (公財)日本ハンドボール協会の責任において抽選する。
抽選結果は、後日、主管協会を通じて各チームに連絡する。
- 1.4 表彰
- (1) 優勝チームには、(公財)日本ハンドボール協会会長杯(持ち回り)を授与する。
- (2) 第1位から第4位までのチームには、賞状を授与する。
- (3) 第1位から第3位までのチームには、メダルを授与する。
- 1.5 会議日程
- (1) ティカガレグート・審判会議 令和元年8月9日(金)12:30~
ホテル京セラ 鹿児島県霧島市隼人町見次1409-1 0995-43-7111
- (2) 代表者会議 令和元年8月9日(金)開会式終了後
ホテル京セラ 鹿児島県霧島市隼人町見次1409-1 0995-43-7111
- 1.6 開会式 令和元年8月9日(金)15:00~
ホテル京セラ 鹿児島県霧島市隼人町見次1409-1 0995-43-7111
- 1.7 閉会式 男子の部 令和元年8月13日(火)12:40~
霧島市溝辺体育館
女子の部 令和元年8月12日(月)12:40~
霧島市横川体育館
- 1.8 宿泊 宿泊については、大会期間中の宿舎を仮予約していることから、必ず指定の宿泊取り扱い業者を通して申込みをすること。詳細は「宿泊・弁当のご案内」による。
- 1.9 競技申し合わせ事項
- (1) 同点の場合の延長戦は、準決勝までは第1延長までとし、なお同点の場合は7mTCで決する。
決勝戦は、正規延長戦を行うものとする。
- (2) 背番号は、大会申込書に記載された番号と同一のものを使用する。
- (3) シューズは、体育館履き専用を着用し、屋外履きシューズとの区別をする。
- (4) 試合球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。

- (5) 松ヤニ・松ヤニスプレーの使用を認めない。各競技会場では両面テープのみ使用可とする。また、練習球は松ヤニ等の付着していないものを各チームで準備すること。
- (6) 選手・チーム役員は、(公財)日本ハンドボール協会発行の登録証を持参しなければならない。各試合の開始前に登録証で本人であることを確認する。登録証を携帯していない場合は試合に出場することができない。
- (7) 役員登録している役員がいないチームは、チームタイムアウトを請求することができない。
- (8) ハーフタイムは15分とする。

20 その他の事項

- (1) 各チームの代表者は、競技に使用する全種類のユニフォームを持参の上、代表者会議に出席すること。ユニフォームが規定のものであることの確認を受け、1回戦の対戦チーム同士で調整を行うこと。
- (2) ユニフォームはコートプレーヤー・ゴールキーパーそれぞれ2着以上の色の異なるものを用意すること。なお、短パンの下にサイクリングパンツ及びユニフォームの下にアンダーシャツ等を着用する場合の事などについては、「服装や保護を目的とした装具に関する規定」として、日本協会ホームページ2019競技規則の欄に掲載しているため、出場チームはそれぞれ確認、規定を遵守の上、参加すること。
- (3) チーム責任者は、大会期間中の選手の行動に関して一切の責任を負うものとする。
- (4) 大会参加チームの役員・選手は、必ず大会前に健康診断を受けて参加するものとし、大会中は健康保険証を持参すること。なお各チームの選手は、各自スポーツ傷害等の保険に加入の上、参加すること。
- (5) 競技中に生じた疾病・傷害等については、主催者で応急処置の対応を行うが、その後の責任は一切負わないものとする。
- (6) 開会式には、各チーム代表者2名で必ず参加すること。また、開会式の品位を損なわない服装で参加すること。なお、部旗・所属都道府県協会旗を持参する必要はない。
- (7) 大会期間中に撮影された写真等は、報告書、広報紙、ホームページ等に掲載されることがある。
- (8) 本大会での選手等の計画輸送は一切行わないので、各チームにて移動手段を確保すること。
- (9) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピングコントロール対象大会である。
- (10) 本大会参加者は、大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- (11) 未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を日本ハンドボール協会へ別途提出している者のみエントリーできる。
- (12) 本大会参加者は、本大会で行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (13) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。